科目名　**学術論文作成法(二)（2単位）**

担当者氏名　菊地哲夫

◆学習・教育目標

国内の各種学会での発表や学術論文投稿できうるような論文作成法を学ぶ。論文作成のための専門用語や明瞭な表現力を養う。学術論文に求められるのは、オリジナリティと創造性であり、単なる「思いつき」とは全く異なる。経済・経営論文では実証研究も求められる。作成された学術論文について、先行研究のサーベイと当該論文の研究史的位置付け、新規性、実証分析の有効性あるいは有用性等の確認を行う。

◆取り扱う領域（キーワードで記載）

論文投稿	専門用語	実証研究	オリジナリティ
先行研究			

◆授業の進行等について（単位制度に基づく授業の進行予定・内容）

回数	テ　ー　マ	内　　容	授業のねらいまたは準備しておく事項
1−8回	国内学会誌発表及び学術雑誌論文作成の手法、論理展開と表現力の養成	学術論文及び学会誌の作成と発表の手順について学ぶ。専門用語を用いた論文作成のスタイルを学び、実践的な論文作成を通して、論理展開と表現力を養成する。	
9−15回	国内学会誌における先行研究のサーベイの手法と課題設定と論文作成、新規性・有用性等の論文評価	学会誌に投稿するにあたって、先行研究のサーベイの手法について学ぶ。さらに、適切な課題の設定、論文の新規性・有用性等及び実証分析の手法と論文の評価の能力を養う。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）
書名／著者／発行所（発行年）

講義の時に指示する。

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等
書名／著者／発行所（発行年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・定期試験・課題等のウェイト）

レポートにて評価する。

◆その他受講上の注意事項